



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社 上場取引所 東
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石栗 秀
問合せ先責任者（役職名） 法務室長（氏名） 草野 考弘 TEL 03-6414-5527
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	29,182	△10.0	502	△59.1	759	△57.3	5,816	366.7
2024年3月期中間期	32,408	6.3	1,229	4.8	1,776	24.5	1,246	27.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 5,900百万円（26.8%） 2024年3月期中間期 4,654百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	459.32	—
2024年3月期中間期	94.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	99,666	76,737	77.0	6,162.05
2024年3月期	103,022	72,535	70.4	5,647.57

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 76,737百万円 2024年3月期 72,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	△4.8	300	△67.1	900	△50.1	5,900	225.7	465.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年11月8日）公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	15,325,642株	2024年3月期	15,325,642株
2025年3月期中間期	2,872,459株	2024年3月期	2,482,044株
2025年3月期中間期	12,664,013株	2024年3月期中間期	13,217,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	8
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)のわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかに回復しておりますが、欧米における高い金利水準の継続や中東地域をめぐる情勢等、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、第2次日甜グループ中期経営計画(2023年4月~2028年3月)を策定し、「持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく」を掲げるとともに、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、企業価値の一層の向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は、主に砂糖事業の売上の減少により、前年同期比10.0%減の29,182百万円となり、経常利益は、砂糖事業及び農業資材事業の損益悪化により、前年同期比57.3%減の759百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産の売却により、前年同期比366.7%増の5,816百万円となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初22.65セントで始まり、主要生産国であるブラジルの豊作観測から一時17セント台まで下落しましたが、その後、ブラジルとインドで降雨量が不足し、来シーズンの作柄への懸念が強まり、22.65セントで当中間連結会計期間を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初249円~251円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、そのまま当中間連結会計期間を終えました。

ビート糖は、販売価格が上昇したものの、昨年の猛暑等による原料てん菜の低糖分により砂糖生産量が大きく減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

精糖は、販売価格の上昇と業務用の販売量に回復が見られ、売上高は前年同期を上回りました。

砂糖事業の売上高は前年同期比12.3%減の20,403百万円となり、前年産てん菜不作の影響による製造原価の上昇により、営業利益は前年同期比47.1%減の747百万円となりました。

<食品事業>

イーストは、適正価格での販売に努めたことから、売上高は前年同期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、フラクトオリゴ糖やベタインの販売量が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

食品事業の売上高は前年同期比2.7%増の1,298百万円となり、営業利益は前年同期比162.3%増の71百万円となりました。

<飼料事業>

配合飼料は、指定生乳生産者団体による牛乳の生産抑制解除により販売量が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、繰越在庫の販売が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

飼料事業の売上高は前年同期比0.5%増の5,230百万円となり、棚卸資産評価損の減少により、183百万円の営業損失(前年同期は676百万円の営業損失)となりました。

<農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、昨年度の先取り需要の反動により、売上高は前年同期を下回りました。

農業機材は、価格改定等により、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材事業の売上高は前年同期比20.6%減の1,087百万円となり、棚卸資産評価損の発生等により、437百万円の営業損失(前年同期は69百万円の営業利益)となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、一部賃貸物件の稼働率低下により、売上高は前年同期比9.4%減の664百万円となり、営業利益は前年同期比18.7%減の374百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業は、書籍販売事業からの撤退により、売上高は前年同期比13.2%減の498百万円となり、120百万円の営業損失(前年同期は113百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,356百万円減の99,666百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比1,951百万円減の48,980百万円となり、固定資産は、主に建物及び土地等の有形固定資産の減少により前連結会計年度末比1,404百万円減の50,685百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比7,558百万円減の22,928百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比7,028百万円減の12,526百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比530百万円減の10,402百万円となりました。

純資産は、主に親会社株主に帰属する中間純利益の増加により前連結会計年度末比4,202百万円増の76,737百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計期間末に比べ2,705百万円減少し、10,148百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,594百万円の収入(前中間連結会計期間は15,922百万円の収入)となりました。

これは、主にその他の流動資産の増加7,255百万円、法人税等の支払額405百万円等による資金の減少があったものの、棚卸資産の減少12,517百万円、その他の流動負債の増加2,915百万円等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、273百万円の収入(前中間連結会計期間は1,602百万円の支出)となりました。

これは、主に定期預金および有価証券の収支差による支出6,500百万円、有形固定資産の取得による支出1,455百万円等による資金の減少があったものの、有形固定資産の売却による収入8,734百万円による資金の増加があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、12,573百万円の支出(前中間連結会計期間は17,971百万円の支出)となりました。

これは、主に短期借入金の返済による支出10,830百万円、自己株式の取得による支出1,000百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月8日)公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,853	7,148
受取手形及び売掛金	8,389	7,938
電子記録債権	216	121
有価証券	7,000	9,500
商品及び製品	18,756	9,375
仕掛品	5,760	389
原材料及び貯蔵品	4,235	6,469
その他	727	8,045
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	50,931	48,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,712	11,331
その他(純額)	12,564	11,293
有形固定資産合計	24,276	22,625
無形固定資産	547	518
投資その他の資産		
投資有価証券	24,952	25,192
退職給付に係る資産	2,195	2,207
その他	120	143
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	27,266	27,542
固定資産合計	52,090	50,685
資産合計	103,022	99,666

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,415	1,289
短期借入金	10,901	50
未払法人税等	495	2,816
その他	6,742	8,369
流動負債合計	19,554	12,526
固定負債		
長期借入金	48	24
役員退職慰労引当金	18	12
退職給付に係る負債	3,852	3,714
その他	7,013	6,650
固定負債合計	10,932	10,402
負債合計	30,487	22,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,413	8,415
利益剰余金	46,664	51,775
自己株式	△4,724	△5,719
株主資本合計	58,632	62,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,982	13,122
繰延ヘッジ損益	7	△8
退職給付に係る調整累計額	912	872
その他の包括利益累計額合計	13,902	13,986
純資産合計	72,535	76,737
負債純資産合計	103,022	99,666

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	32,408	29,182
売上原価	24,862	22,638
売上総利益	7,546	6,544
販売費及び一般管理費		
販売費	4,696	4,363
一般管理費	1,621	1,678
販売費及び一般管理費合計	6,317	6,041
営業利益	1,229	502
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	574	372
持分法による投資利益	17	16
その他	49	44
営業外収益合計	641	435
営業外費用		
支払利息	49	17
固定資産処分損	25	128
その他	19	32
営業外費用合計	93	179
経常利益	1,776	759
特別利益		
固定資産売却益	-	7,698
投資有価証券売却益	32	-
補助金収入	385	-
その他	-	61
特別利益合計	417	7,759
特別損失		
固定資産処分損	17	11
固定資産圧縮損	384	-
特別損失合計	402	11
税金等調整前中間純利益	1,792	8,506
法人税等	545	2,690
中間純利益	1,246	5,816
親会社株主に帰属する中間純利益	1,246	5,816

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,246	5,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,431	140
繰延ヘッジ損益	8	△16
退職給付に係る調整額	△32	△40
その他の包括利益合計	3,407	84
中間包括利益	4,654	5,900
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,654	5,900
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,792	8,506
減価償却費	1,211	1,184
持分法による投資損益(△は益)	△17	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△125	△133
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△55	△73
受取利息及び受取配当金	△574	△374
支払利息	49	17
投資有価証券売却損益(△は益)	△32	-
補助金収入	△385	-
固定資産圧縮損	384	-
有形固定資産除却損	14	5
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△7,701
売上債権の増減額(△は増加)	△226	545
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,178	12,517
前払費用の増減額(△は増加)	△170	△165
未収入金の増減額(△は増加)	930	57
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,442	△7,255
仕入債務の増減額(△は減少)	110	△125
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17	△333
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,588	2,915
その他	27	75
小計	15,239	9,647
利息及び配当金の受取額	574	373
利息の支払額	△57	△22
保険金の受取額	-	2
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	166	△405
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,922	9,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	2,000
定期預金の預入による支出	-	△3,500
有価証券の償還による収入	-	4,000
有価証券の取得による支出	-	△9,000
投資有価証券の売却による収入	42	0
有形固定資産の売却による収入	0	8,734
有形固定資産の取得による支出	△1,936	△1,455
無形固定資産の取得による支出	△35	△16
国庫補助金等の受入による収入	385	-
預り敷金の返還による支出	△15	△403
預り保証金の返還による支出	△61	△56
その他	19	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,602	273
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,830	-
短期借入金の返済による支出	△18,530	△10,830
長期借入金の返済による支出	△61	△44
配当金の支払額	△664	△702
自己株式の取得による支出	△559	△1,000
その他	13	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,971	△12,573
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,651	△2,705
現金及び現金同等物の期首残高	10,589	12,853
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,938	10,148

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式391,300株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得も含めて自己株式が1,000百万円増加しました。

また、2024年7月18日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式3,100株の処分を行い、当該株式の処分により自己株式が6百万円減少しました。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、自己株式が5,719百万円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,261	1,264	5,206	1,368	733	31,834	574	32,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	17	7	0	62	217	866	1,084
計	23,391	1,282	5,214	1,369	795	32,052	1,440	33,492
セグメント利益又は損失(△)	1,413	27	△676	69	460	1,294	△113	1,181

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,294
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△113
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
中間連結損益計算書の営業利益	1,229

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,403	1,298	5,230	1,087	664	28,684	498	29,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	16	13	0	51	216	881	1,098
計	20,537	1,314	5,244	1,088	716	28,901	1,380	30,281
セグメント利益又は損失(△)	747	71	△183	△437	374	573	△120	453

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	573
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△120
セグメント間取引消去	49
その他の調整額	0
中間連結損益計算書の営業利益	502

(重要な後発事象)

2024年10月15日、当社士別製糖所において火災が発生し、ビートパルプ製造設備の一部が焼損いたしました。同製糖所は現在、仮復旧状態にて既に稼働を再開しておりますが、完全復旧に要する期間並びに費用については現在調査中であり、合理的に見積もることは困難な状況であります。